

提 供 日 2026/08/17
タイトル 医療的ケア児・者家族等のつながりづくり推進
フォーラムの開催
担 当 健康福祉部 障害者支援局障害福祉課
連 絡 先 知的障害福祉班
TEL 054-221-2366



医療的ケア児・者家族等のつながりづくり推進フォーラムを開催しま す（取材依頼）

日常の暮らしの中で多くの不安や孤立感を抱えている、医療的ケア児・者及びその御家族に対し、当事者同士や支援機関とのつながりをつくることを目的としたフォーラムを開催します。

～本人と家族、そして支援者をやさしく包む「途切れない支援」のつくり方～をテーマとし、当事者や御家族の実情や思いを直接お聞きするとともに、基調講演や先進取組の紹介等を通じ、支援に対する理解促進と関係機関の連携強化に向けた一歩を踏み出す場をつくります。

- 1 日時
令和8年8月31日（月）午後1時15分から4時30分
- 2 開催方法
オンライン併用のハイブリッド形式で開催します。
対面参加の場合の会場は以下のとおりです。
○ 札の辻クロスホール（静岡市葵区呉服町1丁目30札の辻クロス6階）
- 3 内容
・基調講演（社会福祉法人むそう理事長、NP0法人ふわり理事長
戸枝 陽基 氏）
・実践報告（千葉県君津市福祉部障がい福祉課障がい者支援係総括保健師
三澤 純子 氏）
・当事者及び支援者によるパネルディスカッション
（司会：昭和女子大学専門職大学院福祉社会・経営研究科教授
山本 雅章 氏）
- 4 参加者
医療的ケア児・者及びその御家族、支援機関の職員、行政職員 等
- 5 主催者等
主催：社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
共催：静岡県
- 6 問い合わせ先
社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 生活支援部 権利擁護課
電話番号：054 - 254 - 5237
E-mail：kenriyogo@shizuoka-wel.jp

医療的ケア児・者家族等のつながりづくり推進フォーラム

笑顔がずっと続く地域へ。

～ 本人と家族、そして支援者をやさしく包む「途切れない支援」のつくり方～

本人・家族・支援者の三者が手を取り合い、がんばりすぎずにずっと続けられる

「これからの家族支援」のカタチを考えます。

誰も孤立させない、途切れないやさしいサービスづくりのために、
行政職員や支援者のみなさんと共に一歩を踏み出してみませんか。

令和8年

8月31日 月

13:15-16:30 (受付: 13:00～)

会場

札の辻クロスホール

< 静岡市葵区呉服町1丁目30 札の辻クロス6階 >

オンライン併用 < ハイブリッド方式 >

定員

会場80名 + オンライン配信/録画視聴可

対象

県内市町自治体職員(福祉・保健・子育て担当)、
社会福祉協議会職員、医療・福祉関係者、保護者等

申込締切 令和8年8月24日(月)

【申込URL】 <https://shizuoka-wel.form.kintoneapp.com/public/r8-ic>

参加費
無料

申込フォーム



< 主 催 > 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

< 共 催 > 静岡県

< 協 力 (予定) > 般社団法人みらいTALK、SHINE (静岡障害児等防災ネットワーク)、静岡DWAT事務局、静岡県重症心身障害(者)を守る会、バクバクの会、なないろの会、静岡市肢体不自由児保護者家族の会ハナソ、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静岡県肢体不自由児協会、静岡県社会福祉法人経営者協議会、静岡県民生委員児童委員協議会、静岡県社会福祉士会、公益財団法人静岡県看護協会静岡県訪問看護ステーション協議会、静岡県障害福祉人材サポートセンター、しずおか保育士・保育所センター、日本福祉大学静岡県地域同窓会(順不同)

なぜ今、このフォーラムなのか

医療的ケア児者とそのご家族は、日々の暮らしの中で多くの不安や孤立を感じています。
また、ご家族を支える支援者や事業所も、人材育成や支援の継続といった課題を抱えています。
本人も、家族も、支援者も。
誰もが無理なく笑顔で暮らし続けられる地域のために。
このフォーラムでは、実践事例や当事者の声を通して、途切れない支援のあり方をともに考えます。

プログラム

基調講演

「家族も支援者もホッとできるサービスを目指して」
～社会福祉法人が挑む、持続可能な「ごちゃまぜ」のカタチ～



戸枝 陽基 氏

社会福祉法人むそう理事長
NPO法人ふわり理事長

ご家族のはなし

「子育てと、家族らしさ」



鈴木 彩菜 氏

学校教諭

支援者のはなし

- ・「児童発達支援センター・放課後等デイでの受け入れ」
- ・「保育園での受け入れ」
- ・「学童での受け入れ」



津本 泰江 氏

社会福祉法人インクルふじでらび～
児童発達支援管理責任者



松島 陸 氏

浜松市こども家庭部幼保運営課



栗原 尚恒 氏

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
総合施設長

実践報告

「みんなで支える、まちぐるみの子育て」
～君津市の医療的ケア児支援の取り組み～



三澤 純子 氏

君津市福祉部障がい福祉課
障がい者支援係 総括保健師

パネルディスカッション

「支援する側もされる側も、ホッとできる地域へ」



コーディネーター
山本 雅章 氏

登壇者
戸枝氏・支援者・御家族 ほか

登壇者・実践報告紹介



と え だ ひ ろ も と

戸枝 陽基 氏

社会福祉法人むそう理事長
NPO法人ふわり理事長

愛知県などを拠点に、年齢や障害の有無に関わらず誰もが地域で共に生きる「ごちゃまぜ」の福祉を推進。重度心身障害児者や医療的ケア児の地域生活支援、就労支援など、既存の枠にとられない先駆的なサービスを全国に展開し、地域共生社会の実現に向けて牽引している。



や ま も と ま さ あ き

山本 雅章 氏

昭和女子大学 専門職大学院
福祉社会・経営研究科 教授

調布市で長年行政マンとして活躍後、地域福祉の実践と政策研究の両面から、障害児・医療的ケア児支援や包括的支援体制のあり方を探求。自治体職員・支援者への研修や制度設計のアドバイザーも多数務める。本フォーラムでは御家族との対談の聞き手、およびパネルディスカッションのコーディネーターを務める。



み さ わ じ ゅ ん こ

三澤 純子 氏

君津市福祉部障がい福祉課
障がい者支援係 総括保健師

人口約8万人の君津市では、医療的ケア児等コーディネーターの配置や関係機関による協議の場づくりを通じて、保健・医療・福祉・教育が連携した切れ目のない支援体制づくりを進めている。小規模な自治体だからこそ実現できる「顔の見える連携」と、家族に寄り添う相談支援の実際を、現場の取り組みを交えて報告する。

問い合わせ先

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会 医療的ケア児つながりづくりWG

【企画・内容に関する問い合わせ】担当：望月

【参加申し込みに関する問い合わせ】担当：金子

☎ 054-254-5237

✉ kenriyugo@shizuoka-wel.jp

